

# きこえの教室

町田市立山崎小学校 きこえの教室

## 教育目標

あせらず  
とぎれず  
自分らしく  
じっくりと

## きこえの教室のシステム

町田市のきこえの教室は、「巡回指導」という全国でも珍しい指導形態をとっています。児童は、普段の授業を自分の在籍する学級の友だちと一緒に受け、週に数回きこえの教室の担当者が巡回してきた時だけ、個別の指導を受けます。この形態は通級にかかる時間を割く必要もなく、保護者が付き添う必要もありません。最大限児童の学習時間を保障します。

また、きこえの教室の担当者が毎回在籍校を訪れるため、学校での児童の様子を把握しやすく、在籍校の先生方との密接な連携により迅速できめ細かな指導を行うことが可能です。

さらに、月に一回程、きこえの教室に通っている町田市の児童が集まり、集団指導も行っています。

## 2019年度児童数（9月1日現在）

1年生	1
2年生	1
3年生	2
4年生	1
5年生	1
6年生	0



## 個別学習

各校の教育相談室などを使い個別の学習をします。

静かな環境で児童の実態に応じた「ことばやきこえの学習」をします。児童の苦手とするところや保護者の願いを受けて、指導計画を立てています。

## グループ学習



	個別学習	グループ学習
1 学期	4月10日(水)～ 7月12日(金)	4月17日 5月15日 6月5日 7月3日
2 学期	9月4日(水)～ 12月18日(水)	9月4日 10月9日 11月6日 12月18日
3 学期	1月9日(木)～ 3月17日(火)	1月15日 2月12日 3月4日

きこえの教室の児童が集まり、月1回グループ学習をします。ことばあそびや話し合い活動、発表などを通して話す・聞く学習を行い、コミュニケーションの力を伸ばすようにしています。また、児童同士の親睦を図っています。保護者の方にグループ活動の参観もしていただいています。活動内容によっては、一緒に遊びやゲームなどにも参加していただき、みんなで関わり合って取り組んでいます。

## 指導の内容

一人ひとりの児童の障がいの状況に応じ、さまざまな内容の指導を行います。

### 聞く力を伸ばす

補聴器やその他の機器を活用し、相手の話を聞いて理解する力を伸ばします。

### ことばの力を伸ばす

語彙を増やし、理解力・表現力を伸ばします。

### わかりやすい発音をめざす

正しい音を認識させ、わかりやすい発音で話せるように練習します。

# 楽しい コミュニケーション

保護者の方や担任の先生との連絡を密にし、家庭や学級での配慮や学習について共通理解を図ります。



## 障がいの理解

きこえの教室の児童が在籍する学級で障がいに対する理解教育の学習を行います。

きこえにくたって  
どんなこと？

どうしてわかり  
やすく話せない  
の？

補聴器をすれば  
聞こえているの？

きこえにくいとき  
の気持ちは？

補聴器ってどんな  
もの？

きこえにくい友だ  
ちにはどうしてあ  
げればいいのか？



## 補聴器について

補聴器は、聞き取れない小さな音をマイクで拾って増幅する機械です。

補聴器は、難聴の人にとって音をよりはっきりと聞く手助けとなるものです。しかし、聞き取りたい音だけでなく周りの騒音まで全部の音を増幅してしまいます。補聴器は、聞き取りたい音だけを選択できません。周囲がうるさいと、聞き取るのは困難です。補聴器をつけている児童からは、「周りがうるさくてつけていられない」という声もあがっています。視力の弱い人が、メガネをかけられない状態を考えると、難聴の人の困り感も想像できると思います。

マイクを通した声（放送、テレビ、ハンドマイクなど）反響の大きい場所（体育館、階段の踊り場）や戸外は聞き取りにくくなります。環境整備やその場でのフォローが必要です。

補聴器は、2～3mの範囲しか音を拾いません。なるべく近づいて話しかけるようにしてください。



## 取り扱いの注意点

### ハウリング

時々補聴器からもれるピーピーという音です。これは、イヤーマールドがきちんと耳に入っていない時など、耳からもれた音がさらにマイクで増幅されて補聴器から出る音です。



### 電池切れ

電池はおよそ1週間で取り替えるのが普通です。予備の電池を持つように指導していますので、自分で交換をさせてください。

### 保管場所

体育の着替えや、プールの時など補聴器をそのまま机の上において置く事は、破損の原因になります。また、高額なものなので特に保管場所に配慮していただくようお願いします。

### 汗や水に弱い

補聴器は精密機械なので、湿気を嫌います。水や汗がついた時には、ハンカチで補聴器をよく拭くように指導しています。

### 水泳の時

補聴器を装用していないので、かなりきこえにくい状態になります。共通の合図を決めておくよう配慮をお願いします。（指示を表記するような工夫も効果的です。）



## ①生活・学習編



## ②コミュニケーション編



## 配慮事項

### 視覚的な情報

難聴児は、きこえにくい部分を視覚的な情報で補うようになります。指示や発問をするときは、次のようにしてください。

- ・誰から話し始めるのかが分かるように合図を決める。
- ・キーワードを板書する。
- ・図や表などに注釈を入れる。



### 座席

周りの子のことを見て、取り組むことが多いです。座席は本人と相談をして、一番聞き取りやすい場所で授業を受けさせてください。

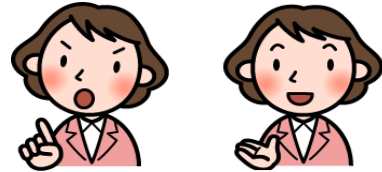
- ・前から二列目くらいで中央だと落ち着いて学習ができる。
- ・補聴器をつけて聞きやすい耳の方向に先生がいる位置がいい。



### 話の仕方

相手の口形、前後の文脈から見当をつけて、話を理解しようとしています。また、耳だけで分かりにくいと相手の顔（口元）を見ます。はっきりと伝わりやすいように、メリハリをつけて話すようにしてください。

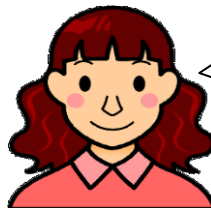
- ・少し大きめの声でゆっくりと話す。
- ・口の形をはっきりとする。
- ・表情豊かに身振りをつけるとわかりやすい。



### きこえる≠わかった

難聴児は、語彙が少ないことが多いので、言葉が聞こえていても、意味が理解できないことがあります。時々、確認してください。「わかった？」のような聞き方では、本音が聞きにくいので、聞いたことを復唱させて確認する方法が有効です。

わかった？ ×



何ていったかな？  
もう1度言ってごらん○

### 黙っている≠何も考えていない

「聴覚障がい」は、「コミュニケーションの障がい」といわれます。そのため、うまく自分の気持ちや考えを表現することが難しいです。補助質問を投げかけたり、話したことを整理して返してあげたりしてください。

## 相談窓口

町田市教育委員会  
教育センター 就学相談担当  
Tel 042-793-3057

山崎小学校  
きこえの教室担当  
Tel 042-793-2004  
Fax 042-791-4183

困ったことや気になる  
ことがあれば、お気軽に  
ご相談ください。



## 通級指導学級への入級手続きについて

難聴学級の入級相談は、随時受け付けています。テレビの音量が明らかに大きかったり、聞き返しや聞き逃しが頻繁にあったりしたら、保健室の先生に相談したり、医療機関で聴力検査を受けたりしてみてください。本人は聞こえにくさが日常化しているため、周りの方がアンテナを高くして関わっていくことが大切です。



## 最後に

たとえば、車いすやベビーカーを使う人のために作ったスロープが、膝が痛い人にとっては負担が多かった階段以外の便利ツールになっていたり、目がはっきりと見えない人のために工夫して作ったシャンプーの凸凹が、目が空けられない状態になった時にすぐ分かる手立てになっていたり、どこからでも開く袋で手間が減ったりするように、補聴器を装用している人のためにしていることが、他の人たちの手助けになることもあります。補聴器を装用している児童が理解できるということは、どの児童にとっても分かりやすい説明であると言えます。

補聴器の扱いについての配慮は、眼鏡をかけている人や歯の矯正器具を着けている人、ギブスをしている人などへの配慮と同じように考えてください。社会のみんなが使う身近な機械ではありませんが、すべての人が気持ちよく生活できるように、相手を思いやり、協力し合って過ごしていきたいですね。

